



西郷小学校6年生  
青空フェスティバルにて



# 議会だより

NO.72  
平成24年1月15日

- ◎新年のあいさつ……………p2
- ◎12月定例会、補正予算、条例改正……………p3
- ◎代表質問（新市政クラブ）……………p4
- ◎一般質問……………p5～p9
- ◎審議結果報告……………p10
- ◎議会活動、一部事務組合報告……………p11
- ◎市民の声・議会ウォッチング……………p12

むらやま「議会だより」は健全で開かれた議会を実現するために、情報の開示を主目的とし、議員による編集を経て年4回発行しています。

# 新年のご挨拶

議長 能登 淳一

市民の皆様には、穏かな新年をお迎えの事と拝察申し上げます。

さて、昨年三月十一日の東日本大震災、及びそれに伴う原子力発電所の事故による多くの犠牲者の方々に哀悼の意を表すると共に、被災された方々さらには避難を余儀なくされた皆様に心からお見舞いを申し上げる次第であります。

その意味において、新春とは言え「おめでとう」の言葉を発し難い心境であります。

そんな折、未曾有の大震災の試練の中で、人との絆の大切さを痛感したところであり、一つひとつの局面に、多くの不安と不満を抱えながらも、復興に向けて冷静な、力強い取り組みがなされている人々の姿に驚嘆し日本人のすばらしさを感じずにはいられない思いがいたします。そのような時代の中で、村山市からさらに復興への思いが届くように改めて互いを尊び、隣人を愛し、自然に畏敬の念を持ち、凛とした人のありようを年頭にあたり自らも考えたいものです。

村山市議会としても、昨年施行された、議会基本条例を遵守し、市民に希望を与えうる議会を目指し粉砕身努力する覚悟です。

結びに被災地の一日も早い復興と、市民皆様の一年の安寧を心から祈念し年頭の挨拶といたします。



## 議会の構成

議長 能登 淳一  
副議長 須藤 和幸

### 議会選出監査委員

森 一弘

### 総務常任委員会

◎秋葉 新一 ○井澤 秋雄  
能登 淳一 柴田 好美  
中里 芳之 佐藤 昌昭

### 文教厚生常任委員会

◎長南 誠 ○長谷川 元  
須藤 和幸 海老名幸司  
川田 律子

### 産業建設常任委員会

◎大山 正弘 ○佐藤 敏彦  
茨木 久彌 森 一弘  
鈴木 健治 布川 淳一

### 議会運営委員会

◎鈴木 健治 ○長南 誠  
海老名幸司 中里 芳之  
佐藤 敏彦 長谷川 元

◎委員長 ○副委員長

# 除雪費9千万円など 1億8千7百万円を補正

平成23年第6回定例会が、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開かれました。上程された議案、条例1件、補正予算5件について審議され、それぞれ可決されました。

## 条例関係

▼村山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

この改正は、災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲を拡大するための改正で、死亡者の配偶者、子、父母、孫、又は祖父母がいずれも存しない場合で死亡者の兄弟姉妹（死亡当時、死亡者と同居又は生計を同じくしていた者に限る。）まで拡大するもので原案どおり可決されました。

## 補正予算関係

補正予算は、一般会計及び特別会計4件でいずれも原案どおり可決されました。

一般会計歳入では、地方交付税9千916万2千円の増、県支出金4千119万8千円の増などとなっています。

また歳出では、土木費1億47万5千円、民生費4千321万9千円、総務費1千792万9千円の増などで、歳入歳出総額11億5千742万7千円となっています。

## 請願

▼「無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分の3・3万円の支給を求める請願」（賛成少数で不採択）

▼原発から代替エネルギーへの段階的移行を求める請願（賛成多数で採択）

▼年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願（全会一致で採択）

▼原発から撤退し、自然エネルギーの導入を求める請願（賛成少数で不採択）

▼安定的な公的年金制度の早期確立を求める請願（全会一致で採択）

## 議員発議

▼社会保障制度としてふさわしい安定的な公的年金制度の早期確立を求める意見書

▼原発から代替エネルギーへの段階的移行を求める意見書

## 臨時議会開催

平成23年第5回臨時議会が、11月1日から11月2

日までの二日間の会期で開かれました。議会の構成関係のほか上程された議案、人事案件、補正予算1件について審議され、それぞれ可決されました。

## 人事案件

▼教育委員会委員（同意）高橋いづみ（大高根）

▼監査委員（議員のうちから選任される者）森 一弘（大久保）

## 議員発議

TPP交渉参加に反対する意見書

## 選挙管理委員・補充員の選挙

委員 佐藤 毅（楯岡）  
大場ひろみ（楯岡）  
溝邊 令子（大久保）  
松田 裕（戸沢）

補充員 里村 学（楯岡）  
小室かづ子（袖崎）  
工藤 和男（西郷）  
和田 敏子（楯岡）

## 一般会計補正予算の主な内容

（単位：千円）

<b>一般会計</b>	<b>補正額</b>	<b>187,395</b>	<b>総額</b>	<b>11,757,427</b>
歳入				
・地方交付税		99,162		
・分担金及び負担金		3,200		
・国庫支出金		16,302		
・県支出金		41,198		
・繰越金		12,259		
・諸収入		22,474		
・市債		△7,200		
歳出（主なもの）				
・除雪事業		90,000		
・道路新設改良事業		13,341		
・地域雇用創造推進事業		6,184		
・地域支え合い体制づくり事業		3,287		
・放課後児童健全育成事業		2,392		

## 特別会計補正額

（単位：千円）

	補正額	総額
国民健康保険事業	55,769	2,893,495
公共下水道事業	△2,044	1,223,707
介護保険事業	△1,239	2,117,284
水道事業会計		
収益的支出	△1,752	685,944
資本的支出	△713	161,893

# 代表質問



## 新市政クラブ 海老名 幸 司 議員

### ◎過疎地指定について

**Q** 平成22年4月、市制発足56年目にして

本市は国の過疎地指定を受け、市政運営に一種の黄色信号を灯した。

過疎の進行は市民サービスの水準やその提供及び財政運営に大きな弊害を及ぼすものであり、一刻も早く脱却することが望まれる。

過疎地指定に伴い自立促進計画が平成22年12月議会に提出されたが、その内容は従来の計画のうち、国の財政支援策としての過疎債に該当する事

業を拾いあげたものが大半であり、過疎から脱却しようとする意欲のないものと判断したところである。

そこで我が会派では、過疎債等の支援を単に従来の事業推進のための支援策として止めずに、総務省の担当者も言うように、過疎債等は過疎脱却のための財政支援策として受け止めて、自立促進計画等を見直すべきではないか、という発議を平成22年12月議会に提出し、可決されたところである。これらの点について市長の見解は。

**A** 過疎地指定は長年の推移に基づくもの

だが、事実として重く受け止める必要がある。有利な制度である過疎債を大いに活用し、健全財政に努めながら、自立促進計画に盛り込んだ事業を着実に進めていきたいと思う。

### ◎楯高跡地活用について

**Q** 北村山高校再編整備計画によれば、楯岡高校を母体とする中高

一貫校が平成28年東根市に誕生することになり、楯岡高校は消滅することになった。

この高校再編問題の本質は、県にとっては少子化に伴う高校再編という教育問題で事足りると思うが、本市にとっては、中心市街地の空洞化をこれ以上許していいのか、という街づくりの根幹にかかわる問題ではないかと考える。

現在の楯岡高校は、生徒・教職員はもとより関係者も含めて、一日に700人前後が往来する中心市街地の中核的拠点施設であり、今後このような施設を建設・誘致することなど不可能に近いと言わざるをえない。もし、なくなれば駅及び甌葉プラザの利用人数も大幅に減ることが予想されるだけでなく、駅前の賑わいづくり事業など水泡に帰すのではないかと考える。そこで我が会派ではそうした危機感を基に、近く

は山形大の結城学長、遠くは新設大学でありながら、大変好調な経営が続いている富山県立大学など全国6カ所の大学に本市ゆかりの関係者を訪れ、大学の設置、誘致に向けて調査研究を重ねてきた。

その成果として、大変厳しいということは承知しつつ、やり方によっては地方の新設大学にも大変好調な経営をしている大学もあり、可能性もなくはないという思いの下に、今年の9月議会に楯岡高校跡地に大学を誘致すべしという発議案を提出し、可決されたところである。仮に大学誘致が厳しいとすれば、楯岡高校に類似匹敵する施設ならば当初の目的は達成できるのではないかと考え、今回新たに次に述べる施設を誘致することを提案したい。第一は全国的に不足している看護師学校

第二は村山農高の移設。第三は雇用対策も兼ねた企業誘致である。何はともあれ、楯岡高校跡地は県有地であり、県に対応してもらおうのが最良の方

策と考える。市長がその気になれば我が会派も全面的に協力するので、市長には県当局へ、積極的な動的、かつ情熱的に働きかけてもらいたいと思うのだが、以上の点について、市長の見解は。

**A** 楯岡高校の跡地活用策については、市が県から跡地を取得するのに9〜10億ぐらいかかるかも知れないが、元氣な子どもたちの声が聞こえるような施設や若い人たちが住める宅地造成という思いを持っている。



県立楯岡高等学校

# ここが聞きたい！ 一般質問

## Q&A

本定例会の一般質問は  
12月5日・6日に9人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



武道館・楯中グラウンドの  
公認更新について  
長南 誠 議員

**Q** 老朽化している村山武道館の改築計画はあるのか。また楯岡中学校公認グラウンドの更新計画はあるのか。

**A** 施設は老朽化している。利用率を考えると改修、改築すべき施設と促えている。楯岡中グラウンドは凹凸があり、

3月の地震でコースが歪んだ。1億9千万円かかる。平成24年度総合的に体育施設を検討し、今後の方針を明らかにする。  
**Q** 大久保小通学路拡幅、新産業高校通学路、特別支援学校通学路をどう考えるか。

**A** 大久保小東側市道観音線170mの拡幅を大久保小改築検討委員会に提案。地域づくりの観点からも検討必要で、まちづくり協議会の意見を聞きながら進めたい。新産業高校については、8月県・市・教育庁で、産業

高校関連交通体系改善検討委員会を立ち上げ検討。支援学校楯岡校については県に提言しているが進んでない。新高校開校に合わせた環境整備が重要と思う。江迎湯沢線、村山の産業、商工振興街づくりを考えながら進める。

**Q** 9月補正予算の農畜産物の放射性物質検査の状況はどうか。

**A** 検査費用1検体 $\frac{1}{2}$ 、1万円を限度に助成。現在まで1個人4団体19件申請、13万500円助成している。検査結果は全て白である。



公認更新が望まれる楯中グラウンド



## 元気で安心なまちづくりを

井澤秋雄 議員



山形県エアバレー大会

**Q** 住むうえにおいて安全、安心、そして元気なまちであることが必要と思うが所感を問う。  
**A** 元気で安心なまち、住んで良かったというまちづくりを進めたい。①安全な通学路、譲り合い道路、ポケットパーク

の整備については今後も力を入れていきたい。②過疎の条件が緩和されたため、ぎりぎりの線地域に指定されたので有利な制度を活用し、元気なまちづくりを目指して参りたい。③東沢公園周辺の整備に

**Q** 元気なまちづくりに貢献できるスポーツ振興の考え方を問う。  
**A** 新しいスポーツとして、エアバレー、ユニホック、カローリングなども元気なまちづくりに資することができるスポーツと考えている。

ついでには、シーボルトラインも2年後に完成が見込まれ、今後、切りバラの栽培、遊園地など夢のある計画を進めたい。  
**Q** 安心安全なまちを目指すためにも、雪対策に万全を期すべきと思うがその方針を問う。  
**A** 安全安心な交通確保と快適な市民生活を維持するため、除雪計画に基づき、実施していきたい。  
これと合わせて、県のゆきみらい推進機構を活用しながら県、市、地域による協働の雪対策を進めていきたい。



## 教育環境について

布川淳一 議員



楽しいおやつ時間（たてやまキッズクラブ）

**Q** 平成25年度に大久保小学校が校舎の改築に伴い、戸沢小学校に一時移転する。この移転についての問題を質問する。  
①移転する期間は。  
②戸沢小学校における説明会で保護者からどのような意見が出たのか。  
③同じ校舎に二つの学校が存在することによる功罪について。  
④大久保小の児童の送迎についてどうするのか。  
**A** ①平成25年春から26年12月までの1年9ヶ月間である。  
②戸沢小学校PTAの総意として協力の意向だ。また、小学校の統合や大久保小の建設場所についても意見が出された。  
③職員室も教室も別々に設置する。カリキュラムも別である。良い点としては児童の交流が増えることや合同事業で教育の成果が上がる点が考えら

れる。  
④スクールバスを借り上げて送迎する。  
**Q** 平成24年度春より戸沢小学校で児童保育がスタートする。一時移転する大久保小の児童は利用出来るのか。

**A** 戸沢地区児童保育施設に立準備委員会では柔軟に対応する。  
**Q** 改築予定の大久保小学校にも児童保育所を設置して欲しい。  
**A** アンケートなどを実施し、地元の要望を待って検討していく。



## 平成24年度予算編成に当たって の考え方について

佐藤敏彦 議員

**Q** 新産業高等学校の開  
設に向けて、①都市

計画道路「江迎湯沢線」  
を、新産業高等学校まで  
の延長整備の計画、目的  
は。②同時に、鶴ヶ町住  
宅団地と村山農業高等学  
校・旧国道13号・JR奥  
羽本線に囲まれた区域の  
開発、整備の考えは。

**A** ①新産業高等学校に  
通ずる通学路の整備

計画検討会議を本年8月  
に立ち上げて進めている。  
完成は早まるように県に  
も強く要請していく。②  
村山駅西（国道13号バイ  
パス西側）の開発後に進  
めたい。更に、追加イン  
ターチェンジ周辺の開発



整備が急がれる新産業高校までの通学路

も計画していく。  
**Q** 平成24年度予算編成  
にあたっての考え方

について、①歳入不足  
（市税収入の減少）が心  
配されるが、その対応は。  
②新規事業、継続事業に  
対する影響とその対応  
方針は。

**A** ①財政的には大変厳  
しいが、マイナ

ス  
シーリングは考えない。  
限られた財源を有効に活  
用しながら、選択と集中  
を図り、総合計画の目標  
達成に全力を挙げる。②  
3カ年実施計画の中で、  
事業の見直しを含めて個  
別の事業ごとに、内容を  
精査しながら実施してい  
く。扶助費等の生活支援  
に対しては、最優先と考  
えている。上下水道等の  
公共料金についても、健  
全な財政運営を考えなが  
ら進めていく。



## 定住人口増加対策 旧大沢川の整備について

柴田好美 議員

**Q** 過疎地域脱却には定  
住人口の増加を図る

ことが重要。現在楯岡中  
学校跡地に宅地造成をす  
すめているが、その状況  
と分譲開始の予定は。  
**A** 事業の内容は、町内  
会など関係住民に説  
明、理解を得ている。  
宅地の造成は23区画。  
若い世代でも購入しやす  
い価格に。24年度に道路  
の舗装、公園を整備、分  
譲の予定。駐車場は宅地  
内に107台を、また来年度  
は中学校南側に造成、学  
校行事などでは365台が駐  
車可能となる。

**Q** 河島工業団地の現状  
と再生は。

している。なお、旧大沢  
川は川から水路に整備し  
ている状況。なお、中央  
二丁目や5号幹線排水路  
の治水対策を考え、連絡  
水路の新設を計画してい  
る。

**A** 工業団地適地調査で  
は、金谷工業団地の

北部・南部そして河島工  
業団地の周辺などが上げ  
られているが、軟弱地盤  
であることから、その条  
件にあった物流拠点や倉  
庫業、弱電関連企業の誘  
致が考えられるし、環境  
整備に努力したい。

**Q** 大旦川河川改修事業  
である新旧大沢川改

修事業の説明と整備状況  
について。  
**A** 改修事業の説明不足  
の時期に、県と協議し  
ながら知らせたい。  
新大沢川への流水は、  
平成23年9月から開始を



大旦川排水機場改築事業の起工式と完成予定図



## 過疎地域の公共交通の 早期取り組みを 鈴木健治議員



電話予約で走る公共交通バス（長野県）

**Q** 過疎地域対策として公共交通空白地の取り組みの基礎調査が開始されたが、その内容や実施時期等についての対応を伺いたい。

**A** 年度内に実施に向けた協議会を設置し、来年度の10月頃を目途に1カ年の試行運転事業に

取り組む予定。

**Q** 村山市における過疎地域等で、今後集落機能が危ぶまれる地域の発生についてどのように認識され、また、その対策について伺いたい。

**A** 村山市では、集落機能が厳しくなる地域は、袖崎の上五十沢地区

と思うが、今後も安心して住める地域づくりを進め、自治公民館の有効利用も検討していきたい。

**Q** 経済産業省は高齢者が日々の買い物に困る「買い物難民」に対し支援事業を本格化しているようだが、村山市は今後の支援体制として空き店舗の活用、官民共同のそして地域のまちづくり協議会と連携して買い物難民解消のためのミニスーパーの設置等を検討してはどうか伺いたい。

**A** 今後前向きに検討し村山市ができる支援を行っていききたい。

**Q** 第5期介護保険事業計画を策定中と聞くが、その内容について聞こう。

①現在、保険料は第4段階で月額3千円だが、改定後はいくらになると試算しているのか。

②要支援など介護度の低い人を今まで包括支援センターの給付事業と、新たに介護予防・日常生活支援総合事業かを選択することに、このたびの計画ではどのように。

③待機者解消に向けて施設を増やす計画は。

**A** 第5期の介護保険料は、県交付の財政安定化基金と介護給付費準備基金を取りくずしても3千600円の予定。県内でも安い方になると思う。

②総合事業については、検討した結果、本市では要支援からはずれる人は1人もいないため、このたびは見送る予定。

③施設待機者は160名いるが、平成25年4月に旧大高根中跡地に民間のグループホームが開所の予定。旧袖崎中跡地にも平成27年オープン予定で「はやまホーム」のような地域密着型の施設をつくる予定。今後も計画的

に順次各地域に小規模施設をつくっていききたい。

**Q** 村山特別支援学校楯岡校が生徒数が多くなり手狭になっていると聞くが。

**A** 道路などの環境整備をしながら、県にも働きかけていきたい。



## 第5期介護保険事業計画は 川田律子議員



地域密着型の小規模介護施設「はやまホーム」





## 子どもの命を守るため、さらに きめ細かな放射能測定を 中里 芳之 議員

**Q** ①原発事故は深刻。放射線の測定範囲をさらに拡大し、公園や通学路など学校以外の、子どもが遊びそうな場所についても測定を。②民間住宅でも軒下など放射線量の高い箇所がある。注意を市民に促し、希望者宅の測定、または簡易測

定器を購入し貸し出すとともに、除染の指導や支援を。③「地上1mで毎時1μSv以上」という文部科学省の除染基準は、高すぎて安全に対する余裕がない。毎時0.2μSv程度を基準に市独自の除染基準を。④被災地のがれきを焼却し発電をしているグ

リーンパワー周辺で、放射線量が他地域より若干高いのはなぜか。⑤200Bq/kg未満の災害廃棄物を焼却した場合、放射能が大気中に放出されることはないのか。

**A** ①課題もあり検討しながらだが、ご指導とおり測定していきたい。②市民の不安は収まっていない。その考えはない。

③国県の指針に沿って対応する。④土壌中のカリウムが影響しているのはという業者の調査もあるがデータの公表は差し控える。⑤淡々と測定しながら対応する。

**Q** 除雪困難な高齢者等に配慮した市道除雪が本格実施されるが、①その対象件数は。②県道沿いの方にも配慮を。

**A** ①179件。②県に協力をお願いしているが困難な点もある。



## 高齢化していく村山市の今後のあり方について 森 一弘 議員

**Q** 市内をくまなく歩いた。空家の増。老人世帯の増。店の減。介護認定者が増。施設通所者の増。子供の外遊びがみられない等々。地域が変わってきている。さらに、地域機能が働かなくなる話を聞かされる。

今まさに的確な施策を講じなければ、地域が地域でなくなってしまう。楯岡集中で人口政策を考えているようだが旧7ヶ村をどう考えているのか。

**A** 総合計画を基本に進めている。8つの地域で「まちづくり計画」をつくってもらった。行政が支援をして応援していく。提案があれば。市は市全体をみて各方面の施策を講じるべきだ。

市内一円を回ってもらう各地の空家を利活用、日用品販売所を設置、店は老人クラブにお願い、新たに、朝夕の鉄道に接続する市内循環型市民バス

の運行。至れり尽くせりの介護でなく、「夢のみずうみ村」のような、自分のことは

自分でやるリハビリ主体のデイサービスセンターの誘致等。介護をうけないような健康づくりは今取り組んでいる。新年度、新たな公共交通システムをやる。サロン活用をさらに進めていく。



やまがたグリーンパワー(株)バイオマス発電所



地域の力

# 開かれた議会を目指して

平成23年度9月議会において、村山市議会基本条例が可決成立し、同11月1日より条例が施行されました。これに伴い、平成23年12月議会より議案に対する議員個人の賛否について公表する事になりました。今後も、より開かれた議会を目指し努力してまいります。

## 平成23年11月～12月の市議会審議結果報告

議員名	議決結果	新市政クラブ							青風会			日本共産党 村市部		無会派			賛成	反対	
		井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘			須藤和幸
議案等の名称																			

### ◆平成23年第5回臨時議会（11月1日～2日）

市 長 提 出	予 算	議案等の名称	議決結果	井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一	賛成	反対
		平成23年度村山市一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
	その他	教育委員の任命について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
		監査委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退※	○	議	15
議員提出	発議	T P P交渉参加に反対する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	15	1

(※) 本人の選出の場合、退席するきまりです。

### ◆平成23年度第6回定例会（11月30日～12月14日）

市 長 提 出	予 算	議案等の名称	議決結果	井澤秋雄	長谷川元	長南誠	鈴木健治	大山正弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	海老名幸司	佐藤敏彦	布川淳一	佐藤昌昭	川田律子	中里芳之	森一弘	須藤和幸	能登淳一	賛成	反対	
	条例	村山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0	
	予算	平成23年度村山市一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議	15	0	
		平成23年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
		平成23年村山市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
		平成23年度村山市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
		平成23年度村山市水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0
議員提出	発議	社会保障制度としてふさわしい安定的な公的年金制度の早期確立を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	16	0	
		原発から代替エネルギーへの段階的移行を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	議	10	6

正副議長及び監査委員は会派に属しません。また議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

回=可決    否=否決    〇=賛成    ×=反対    欠=欠席    退=退席    議=議長

# 主な議会活動

## 産業建設常任委員

11月18日水神祭、下水道祭が各々現地で行われた。幕井貯水池取水口の水神様では、市長、産業建設常任委員、担当課職員で、自然の恵みの水に感謝し、市民が安心・安全で美味しい水の安定供給を祈願した。

また、下水道祭は楯岡南ホンプ場開通記念碑前で行われた。水洗化率100%を目指した生活の改善と、水質の保全に資する水道事業の安全を祈願した。



下水道祭

## 新市政クラブ



総務省職員による研修会

11月21日・22日衆議院第二議員会館に於いて行政視察を行った。国土交通省道路局からは東北中央道東根尾花沢区間の工事進捗状況について説明を受けた。部分供用開始の有無、軟弱地盤対策について詳細な説明を受けた。総務省自治行政局過疎対策室からは過疎債及び自立活性化交付金の活用事例の説明を受けた。現在は過疎指定から出る規定がないなど今後の課題についても話し合われた。12月9日には山形河川国道事務所より追加説明があった。

## 一部事務組合議会報告

**共立衛生処理組合**  
共立衛生処理組合議会は11月29日東根市議場で開かれ、23年度補正予算、市町負担金確定の2議案を可決。人事案件1件に同意した。補正予算は2億1千169万3千円減額、総額21億6千130万4千円とした。市町負担金は前年比8.5%減の6億7千700万円で、村山市負担は1億969万6千円となった。監査委員に狩野佳和氏（天童市議）を同意。副議長に大場勇人氏（河北町議）を選出した。

**北村山公立病院組合**  
北村山公立病院組合議会は12月22日東根市議場で開かれ、平成23年度補正予算と発議1件を可決。補正予算は上半期を踏まえ、年間入院患者数を当初比7千320人減の10万4千310人、外来患者数4千819人減の12万131人と見込み、事業収益は53億2千792万円、事業費用を54億4千785万円に補正、1億1千993万円の赤字を見込む。発議の議員派遣は、耐震補強工事の視察を、宮城県登米市民病院で行うもの。

**北村山広域行政事務組合**  
12月26日臨時議会が開かれ、大山二郎監査委員の辞任に伴い、監査委員の選任について上程される議員のうちから選任される監査委員に、齋藤公一氏（大石田町議会議員）を選任することに同意された。また、教育委員の任期満了に伴い教育委員会委員の任命について追加提案され、岩崎雄策氏（尾花沢市）を任命することに同意された。なお、構成市町の議員改選に伴う変更は次の通り。  
議長 茨木久彌（村山市）  
副議長 井澤秋雄（村山市）  
議長 藤岡藤弥（大石田町）

## 一部事務組合議会議員

11月2日臨時議会で一部事務組合議会議員が選出され各々議会で選任された。

### 共立衛生処理組合

議長	長	南	誠
副議長	海老名	幸	司子
議員	川	田	律

### 北村山公立病院組合

議長	能	登	淳	一
副議長	秋	葉	新	一
議員	鈴	木	健	治
議員	佐	藤	敏	彦

### 北村山広域行政事務組合

議長	茨	木	久	彌
副議長	井	澤	秋	雄
議員	布	川	淳	一

### 広域斎場事務組合

議長	大	山	正	弘
副議長	長	谷	川	元
議員	佐	藤	昌	昭

# 市民の声



森林インストラクター  
齋藤 一雄 さん (大倉)

**森** 林インストラクターは、自然環境教育を目指す森の案内人です。「環境教育推進法」と呼ばれる法律に基づいた資格試験制度により認定されます。森を訪れる皆さんが、心地よく過ごし、楽しみ、感じ、自然を深く知ることができるよう様々な活動を通してお手伝いをしています。

2年前に電子機器メーカーを定年退職しました。どうして畑

違いのことを始めたのかと聞かれます。少しは社会貢献をと思ったこと、山登りが好きだったこと等ありますが、何より森の仕組み（森林生態系）の素晴らしさを知ったからです。

年に数回、市農林課主催のエコツアーの手伝いをしてあります。市内の園児を対象にした“森のようちえん”や一般参加の森林活動体験などです。森に入ると大人も子供も目が輝きます。そして参加者の「また来たい」という声に励まされています。

森林の効用は多方面にわたります。環境保全の機能や癒しの効果、そして木材や山菜など自然から恵みを戴くことは昔からやってきたことです。村山市に

はその資源がたくさんあるので活用すれば振興につながります。皆さん、まずは森に入って現状を見てみませんか。



村山市“森のようちえん”



キノコの菌打ち体験

## ぎがいわおツチン

### 総務常任委員会

当委員会の所管する課は、総務課、企画財政課、会計課、市民課、税務課、選挙管理委員会、議会事務局、監査委員事務局、となっています。予算決算審査を初め、閉会中も所管事務について継続調査を要するものもあります。又、条例改正や請願審査も付託されます。今議会では条例案1件、請願5件が付託され、慎重に審査にあたりました。

委員 長	秋葉 新一	副委員 長	井澤 秋雄
委員	能登 淳一	委員	柴田 好美
委員	中里 芳之	委員	佐藤 昌昭

## 議会の傍聴へお気軽に おいでください

議会を傍聴することは、市政の運営を知り、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを理解する方法です。

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴することができますので、お気軽においで下さい。

12月議会の傍聴者は、34名でした。

決算書、予算書が傍聴席入口でも閲覧出来るようになりました。

▲市のホームページに「会議録」を掲載しています。

<http://www.city.murayama.lg.jp/0530gikaizimukyoku/index.html>

又会議録検索システムもあります。ぜひご覧ください。

### あしがき

今回から村山市議会だより編集委員会として新たなスタートを切る事になり、個性豊かな7人のメンバーで頑張っています。

読みやすさ、分かりやすさは当然、議会基本条例に基づき議案に対する各議員の賛否についても新たに紙面を設けましたので是非、読んで下さい。  
(須藤和幸)

### 議会だより編集委員会

委員 長	須藤 和幸
副委員 長	井澤 秋雄
委員	秋葉 新一
委員	川田 律子
委員	長南 誠
委員	布川 淳一
委員	長谷川 元

